



# 専門外来のご紹介「もの忘れ外来」

茨城県立医療大学付属病院 脳神経外科 鯨岡裕司

### ある脳外科外来での一コマ。

患者「先生、最近もの忘れがひどくて…。|

医師「そうですか。頭のCTを撮ってみましょう。|

医師「CTで脳の萎縮はありませんね。多分、歳(とし)のせいでしょう。 それでは、お大事に。|

「頭痛・めまい・しびれ」以外に「もの忘れ」を心配されている方が多くいる のは知っていましたが、以前の私の外来もこんな感じでした。

ところが、いとこの夫が若年性アルツハイマー病を発症したことを耳にした り、認知症をもつ患者さんの脳血流の検査を行っているうちに認知症に興味が わいてきて、平成26年4月に、前任地の茨城県立中央病院で「もの忘れ外来」 を開設しました。その後、平成29年に日本認知症学会の専門医を取得し、昨年、 令和3年4月に当院に着任し、当院で「もの忘れ外来」をスタートしました。



認知症は、「高齢者の 15%、450 万人で、5 年長生きすると倍増する」とも言われています。 アルツハイマー 型認知症はその半数を占めると言われていますが、認知症の診断は、認知症と臨床症状が類似している他の 病態、すなわち、脳卒中や脳腫瘍、正常圧水頭症などを除外することが重要です。これらの疾患に慣れ親し んできている脳神経外科医は、認知症診療においてアドバンテージを有すると言えるでしょう。さらに当院 にも備えられている脳血流 SPECT (写真) や MRI などの画像解析の驚異的進歩により、脳を三次元的に 「目 に見える」形で理解することが可能となり、認知症を診断する際に大きな武器となっています。

当院でのもの忘れ外来の流れは、

問診

長谷川式簡易知能評価スケール 神経診察 MRI がなどの認知機能検査、血液検査

必要に応じて、脳血流 SPECT などの核医学検査

治療 (投薬など)

となっています。

根本治療がない状況で認知症の診断を下すことは、「早期診断、早期 絶望」となるだけだという批判もありますが、診断に基づいて早めに対 策を練ることは、患者さん個人やご家族にとっても、社会経済学的見地 から見ても、とても意味があることだと私は考えます。

ぜひご気軽にご相談ください。

### 「もの忘れ外来」

毎月第2・第4木曜日  $9:00 \sim 11:30$ 

紹介状なしでも受診可能ですが、事前電話予約をお願いします。

予約専用番号:029-888-9201 予約受付時間:平日 9:00~12:00,13:00~15:00

現在受診されている医療機関等がある方は、かかりつけ医に診療情報提供書(紹介状)を作成していただき、 受診当日に持参してください。

ご家族からの情報も大切ですので、できるだけ同居のご家族と一緒に受診してください。



(2) 発行: 2022年 3 月 茨城県立医療大学付属病院 広報紙 第40号

# 家屋写真の撮影方法と活用について

茨城県立医療大学付属病院 理学療法科 平井元太

\*家屋評価とは、入院患者さんの自宅に病院スタッフが訪問して、患者さんが家の中を移動したり、家事をしたりすることができるかを直接確認する作業です。必要な場合には住宅改修や福祉用具の導入、介助方法などの提案も行います。

• 病気やケガをした患者さんは、体のまひや体力の低下などで、以前と同じように体を動かせなくなることがあります。入院中のリハビリテーションでは自宅を想定した動作練習を行いますが、病院と自宅では環境の違いがあります。その違いによって、「退院してみたら、想定した動作ができなかった」とならないように、家屋評価を行います。



・家屋写真より自宅環境を確認させていただき、写真をもとにリハビリテーションのメニューに反映させます。

• また、環境調整が必要な場合には、ご本人、ご家族、担当スタッフと相談する際の参考にさせていただきます。







# 玄関

## 

- ・高さや幅
- 動線
- ・支えの位置
- ・玄関の全体像 が分かる写真があると 助かります

段差昇降練習の 参考になります





# 敷居

# ፟፟፟፟፟፟፟ 撮る際のポイント

- 高さ
- 動線
- ・敷居の全体像 が分かる写真があると 助かります

跨ぎ動作練習の 参考になります



茨城県立医療大学付属病院 広報紙 第40号 発行:2022年3月 (3)



# ベッド

## ☆撮る際のポイントです

- · 高さ
- 動線
- ・寝室の全体像が分かる写真があると

助かります

立ち座り練習 寝返り練習 起き上がり練習の 参考になります





# お風呂

# ☆撮る際のポイントで

- ・浴槽の内側・外側の高さ
- 動線
- ・脱衣所と浴槽の段差高
- ・浴室全体像 が分かる写真があると 助かります

入浴動作練習の 参考になります



# 院内部門紹介

# 第1回 [地域医療連携部]

総合相談室 遠藤亜紀

地域医療連携部には、総合相談室と地域医療連携室があります。

総合相談室では、ソーシャルワーカー(SW)と外来看護師が入院・外来を問わず様々な相談に対応しています。リハビリテーション病院という性質上、退院後の生活・社会復帰を視野に、様々な相談に対応しています。障害者手帳・障害年金・労災・介護保険など様々な福祉制度の活用を行い、安心して患者さんが生活する場で過ごせるようサポートしています。

地域医療連携室は、医療機関間の入院相談を担当しています。紹介元医療機関より診療情報など必要な情報を受け取り、医師・看護師・SWなどが参加する会議で検討しています。早期に受け入れができるよう、月・木の定期検討会議の他、回復期リハビリテーション病棟については、火曜〜金曜の朝に病棟内でベッドコントロールを行い、お受け入れまでの時間が短縮できるよう努めております。相互に情報共有を行い、安全にリハビリテーションが提供できるように心がけています。

※他の医療機関では、地域医療連携室で外来予約などの調整も行っていることがありますが、当院の外来予約については予約専用電話で対応しております。

(予約専用電話:029-888-9201 平日9:00~12:00、13:00~15:00)



(4) 発行: 2022年3月
茨城県立医療大学付属病院 広報紙 第40号

# S

# 茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、

安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、

患者さんが住み慣れた地域で、

安心して、その人らしく生活できるように支援します。

### ●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。



# 医療機関のみなさまへ

# \*\*\*\* 画像診断サービスのご案内 **\*\*\***\*

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

### ~検査内容~

- ·一般X線撮影
- ·X線骨密度測定
- ·CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査
- ●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL: 029-888-9213 FAX: 029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。

# ~令和2年度診療実績~

●延外来患者数 18,840人

(1日平均 77.53人)

●延入院患者数 35,175人

●新入院患者数 472人

●退院患者数 500人

●平均在院日数 71.35日

# 

### ●鉄道・バスをご利用の場合

JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車

- □土浦駅(西□)からバスで約25分
  - 「阿見中央公民館行」で、

「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分

- □荒川沖駅(東□)からバスで約25分
  - 「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

### ●お車をご利用の場合

□常磐自動車道「桜土浦 I C」より約25分



# 茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200代 ホームページ http://www.hosp.ipu.ac.jp/

